

2021年09月14日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【コロナ対応と原発事故対応】

日本の政局では、菅総理大臣が、今月末(9月末)の自民党総裁選に立候補しないことを表明した。

その理由に、「コロナ対策に集中すること」を挙げているが、自民党総裁選に立候補しても、勝てないことを確信したので、退却を余儀なくされただけだろう。

それは、あえて指摘しないだけで、衆目の一致するところ。

事情や理由は何であれ、自民党総裁選後に、日本の総理大臣(日本のトップリーダー)が変わることが明らかになった。

しかし、過去の経験則では、基本的に、「外国為替市場」では、日本の政治は材料にならない。

つまり、マーケット(外国為替市場)は、菅総理辞任のニュースを無視している、と判断しています。

+++++

上述の通りに、「外国為替市場」では、日本の政治が、無視されることが通常(セオリー)と考えます。

実際のドル/円の外国為替市場の値動きを見ても、ほとんど影響が無い、と考えます。

+++++

ただし、日本の株式市場では、新たなリーダー(総理大臣)が、誰に決まるにせよ、新たな経済政策に対する期待感が高まっているようです。

つまり、「菅総理辞任のニュース」は、日本株上昇の材料(テーマ)になっている、と考えます。

「外国為替市場」では、日本の政治は無視しても良いのですが、理由は何であれ、日本株が大きく上昇することは、外国為替相場に影響を与えることがあります。

その点には、注意を要する、と考えます。

+++++

+++++

個人的には、今回の自民党総裁選に期待感を持っています。

断っておきますが、私は自民党を支持していません。

特に、前の安倍麻生政権は、説明責任を果たさず、「疑惑のデパート」だった、と考えています。

検察がきちんと精査すれば、立件できる事柄のオンパレードだろう、と推察します。

そして、安倍政権を引き継いだ菅政権は、「同じ穴の貉」と考えます。

菅政権は、前政権の疑惑を、疑惑のまま放置した、と判断しています。

+++++

今回の自民党総裁選で、河野氏と石破氏が手を組み、新政権を立ち上げるのならば、従来の安倍麻生菅政権の隠ぺい体質から、少しは変化するのではないかと考える次第です。

ただ、自民党に対抗する野党が、もっと奮起して、国民の声に耳を傾けなければ、本質的に、日本の政治は改善されない、と考えます。

+++++

+++++

東北の大地震で、福島原発事故が起こり、当時の民主党政権は、その対応で、国民の支持を失いました。

当時の民主党政権は、当時の自民党から、政権運営能力が無い、と批判され、総選挙で負けて、政権を失いました。

+++++

現在の自民党政権（+公明党）のコロナ対応を見れば、福島原発事故と同様に、必要な対応が出来ていない、と考えます。

つまり、現在の政府には、政権運営能力が無い、と判断しています。

+++++

今回の自民党総裁選で、総理大臣が変わっても、引き続き、自民党政権（+公明党）のままなので、

どこまで期待して良いのか、疑義も大きいのですが、トップ（リーダー）が変われば、少しはましになるのではないかと期待しているのです。

++++
++++

コロナに感染しても、自宅待機（自宅療養）で、場合によっては、診療も受けられずに、自宅で死亡するなど、あってはならない事件です。

原発事故の放射能で、救助に向かえずに、死亡した人がいたことと同じ。

原発事故とコロナ感染は、どちらも未知の体験（初めての体験）だったことが共通点であり、その対応が難しいことは、誰でも理解できる、と考えます。

今回のコロナ対応では、野戦型の大規模収容施設を作るなど、やるべきことをやっていないことが、腹立たしい、歯がゆい、につながっているのだ、と感じます。

上手く行かなくても、やるべきことをやっていれば、失敗しても、国民は、信頼する、と考えます。

今回のコロナ対応は、福島原発事故の対応と、いい勝負だ、と考えます。

++++
++++

（2021年09月14日東京時間15:55記述）